

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-137168

(43)Date of publication of application : 26.05.1998

(51)Int.CI.

A47L 13/20
A47L 13/18

(21)Application number : 08-316948

(71)Applicant : AZUMA KOGYO KK

(22)Date of filing : 13.11.1996

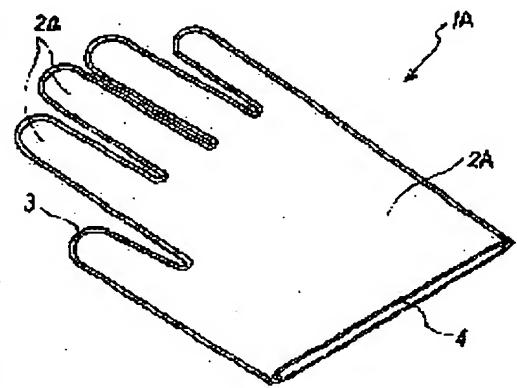
(72)Inventor : YAMASHITA SHUSUKE

(54) HAND MOP

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a hand mop with excellent workability which enables accurate cleaning of an object with any complicated shape into particulars by a method wherein two or three or more of sheet-shaped soft wiping cloths are laminated and the periphery parts thereof are peelably fastened mutually by a fastening means while insertion ports are formed at parts of the periphery parts.

SOLUTION: Two sheets of soft wiping cloths 2A for wiping out dusts are laminated, the periphery parts thereof are peelably fastened by a fastening means 3 while insertion ports for inserting a hand between both the wiping cloths 2A and 2A are formed at parts of the periphery parts to produce a glove-shaped hand mop 1A. The wiping cloth 2A comprises a sheet-shaped material such as paper or cloth in the form of a nonwoven fabric to be shaped roughly into a hand having five finger parts 2a and the periphery parts thereof are mutually fastened excluding the insertion ports 4 by the fastening means 3 comprising hot melting or the like associated with cutting by heat. In application of the hand mop 1A thus obtained, a hand is inserted between the upper and lower wiping cloths 2A and 2A through the insertion ports 4 and the surface of any one of the wiping cloths 2A is pressed onto a part to be cleaned to clean up.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 23.10.2003

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 08.02.2005

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-137168

(43)公開日 平成10年(1998)5月26日

(51)Int.Cl.⁶

A 47 L 13/20
13/18

識別記号

F 1

A 47 L 13/20
13/18

B

審査請求 未請求 請求項の数3 FD (全4頁)

(21)出願番号 特願平8-316948

(22)出願日 平成8年(1996)11月13日

(71)出願人 000101363

アズマ工業株式会社
静岡県浜松市野口町626

(72)発明者 山下修右

浜松市野口町626 アズマ工業株式会社内

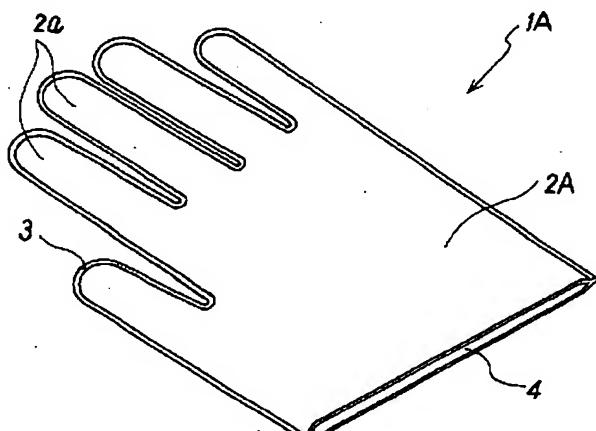
(74)代理人 弁理士 林宏 (外1名)

(54)【発明の名称】 ハンドモップ

(57)【要約】

【課題】 構造が簡単で安価であると共に、柔軟性に勝れ、複雑な形をしたものでも細部まで確実に清掃することができる、取り扱いが容易で清掃の作業性に勝れたハンドモップを得る。

【解決手段】 尘埃を拭取るためのシート状をした柔軟な拭布2Aを複数枚積層し、これらの拭布2A、2Aの周縁部を止着手段3で相互に剥離可能に止着すると共に、周縁の一部に、上下の拭布2A、2A間に手を挿入するための挿入口4を形成する。



【0013】拭布2Aの表面が汚れたら、ハンドモップ1Aを上下反転させ、他方の拭布2Aで同様に清掃する。そして、両方の拭布2A, 2Aが汚れたらハンドモップ1Aを廃棄する。あるいは、2枚の拭布2A, 2Aを剥離してそれぞれの裏面を使用して清掃することもできる。

【0014】かくして上記ハンドモップは、拭布のみで構成されているから、構造が簡単で安価であると共に、手袋状とすることにより直接拭布を持って清掃することができるため、取り扱い易く、しかも柔軟性に勝れているため、複雑な形状をしたものでも細部まで確実に清掃することができる。しかも嵩張らないため、保管や収納、持ち運びなど、取り扱いも容易である。

【0015】図3は本発明のハンドモップの第2実施例を示すもので、この実施例のハンドモップ1Bは、各拭布2B, 2Bを、親指2bの部分だけが分かれた二股手袋(ミトン)状に形成したものである。しかしながら本発明のハンドモップは、拭布の平面形状を必ずしも上記第1及び第2実施例に示すような形状とする必要はなく、それら以外の任意の形状、例えば矩形や楕円形、円形等に形成することもできる。

【0016】図4は本発明のハンドモップの第3実施例を示すもので、この実施例のハンドモップ1Cは、拭布2C, 2Cの積層枚数が3枚以上である点で上記各実施例のものと相違している。

【0017】なお、ここでは、拭布2C, 2Cが第1実施例と同じ手形状をしたものを代表的に示したが、第2実施例のようなミトン状であっても、それ以外の矩形や楕円形、円形等であっても良いことは勿論である。

【0018】この第3実施例のハンドモップ1Cは、適当な位置にある挿入口4に手を挿入し、第1実施例の場合と同様にして清掃する。そして、汚れた拭布2Cを順次剥離して廃棄し、新たに露出した拭布2Cの表面で同様に清掃する。最後に2枚の拭布2C, 2Cが残ったら、上記第1及び第2実施例のようにして使用すれば良い。

【0019】また、この第3実施例のように拭布2Cの積層枚数が多い場合、例えば10~数10枚程度の拭布2Cが積層されている場合には、手を挿入する挿入口4の位置を選択して押圧する拭布2Cの枚数を調節することにより、清掃対象部位に応じて清掃時のタッチを変えることができる。即ち、清掃に使用される最下層の拭布

2Cに近い挿入口4に手を入れた場合には、押圧する拭布2Cの枚数が少ないためタイトなタッチで清掃することができ、手を入れる挿入口4が最下層の拭布2Cから遠ざかるにしたがって押圧する拭布2Cの枚数が多くなるため、ソフトなタッチを得ることができる。

【0020】また、汚れた拭布2Cを剥離することによって新しい拭布を順次露出させることができるために、一つのハンドモップによって家具やテーブル等の異なる清掃対象部位を順次清掃することができ、効率的且つ衛生的である。

【0021】

【発明の効果】以上に詳述したように、本発明のハンドモップは、複数枚の柔軟な拭布を剥離可能に積層することにより手袋状に形成し、その中に手を入れて清掃するようにしたので、該ハンドモップが手によく馴染むことによって拭布を清掃対象部位の形状に倣って自在に変形させることができ、この結果、テーブル等の平坦な面はもちろんのこと、複雑な形をした置物の表面であっても、細部まで確実に清掃することができる。しかも、拭布のみで構成されているから、基板にモップ糸を取付けた従来のハンドモップに比べて構造が簡単で安価であると共に、嵩張らないため、保管や収納、持ち運びなど、取り扱いも容易である。また、拭布の積層枚数が多い場合には、表面の拭布が汚れたら、それを剥離することにより新たな拭布を順次露出させることができるために、一つのハンドモップによって家具やテーブル等の異なる清掃対象部位を順次清掃することができ、効率的且つ衛生的である。しかも、手を挿入する挿入口の位置を選択して押圧する拭布の枚数を調節することにより、清掃対象部位に応じて清掃時のタッチを変えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るハンドモップの第1実施例を示す斜視図である。

【図2】図1の断面図である。

【図3】本発明に係るハンドモップの第2実施例を示す斜視図である。

【図4】本発明に係るハンドモップの第3実施例を示す斜視図である。

【符号の説明】

40	1A, 1B, 1C ハンドモップ C 拭布 3 止着手段	2 A, 2 B, 2 4 挿入口
----	-------------------------------------	----------------------